

ひらまつの杜で取り組んでいること

○読み聞かせ、運動面について

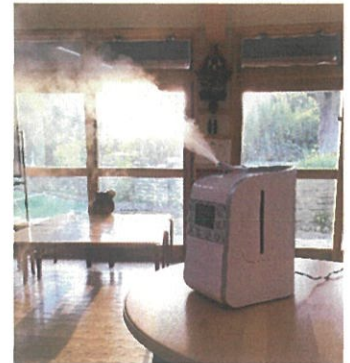
毎日、各クラスで、子どもたちに読み聞かせを行っております。年齢に応じた理解度や今、子どもたちが興味のあるもの、その時々によって、職員が絵本を選んだり、子どもたちが見たい絵本を選んできたりします。たくさんの絵本に出会うことで、子どもたちの視野や想像力も広がっていき、集中力へも繋がります。読み手によって、内容の伝わり方も違いますので、絵本が大好きな子どもたちに、ぜひ、ご家庭でも、お父さん、お母さんの声で読み聞かせをしてあげてくださいね。

運動面では、園にある、鉄棒、雲梯、ボルダリング、跳び箱、マット、ボールなどを使い、個人個人に合わせ、保育士と目標を決め、取り組んでおります。できなかった時の、悔しさ、できた時の子どもたちの喜ぶ顔や達成感を感じながら、一つ一つ、ステップアップしていております。

次年度も、引き続き、子ども主体の保育を中心にしながら、絵本の読み聞かせや運動面にも力を入れて取り組んでいきます。

○感染症予防について

令和2年3月より、新型コロナウイルス感染拡大防止や感染症予防の為、日々の定時での検温やこまめな手洗い、うがい、手指消毒、換気等を実施しております。また、次亜塩素酸水を使用し、毎日玩具や机、椅子等の消毒と噴霧器を用いて保育室の消毒を行っております。また、令和3年2月には、業者へ依頼し、幅広い除菌、抗菌効果があると言われている「バイオプロテクト消毒」を実施致しました。引き続き、感染症予防対策を徹底してまいります。



○職員の連携、情報交換、保育の質の向上について

保育士の連携の土台の上に、質の良い保育があると考えております。その為、毎朝の朝礼での子ども様子の情報交換を行い、毎日のねらいに添った保育、その後、クラスでの反省、考察、園内研修、職員会議などを通して、職員が一つになり、子どもたちにとって、良い保育とは何かを、日々話し合っ、保育をしています。

○保護者の方との連携について

子どもさんの成長にとって、家庭での様子や、園での様子を伝えあう事は、最も重要だと思っています。毎日送迎の際に、保護者の方から、保育者に、子どもさんの事を相談されている様子をよく見かけます。コロナ禍で、なかなかと思われる方もいらっしゃると思いますが、相談しにくい場合は、キッズノートを活用されている保護者の方もいらっしゃいます。子どもさんの成長、発達の手助けを家庭と園でできたら、子どもさんにとっても良いと思います。引き続き、保育者と保護者の方々との連携をとっていきましょう。